「学校だより」第14号

愛汗大志

令和4年12月15日(木)
南城市立知念中学校
校長　志伊良 洋子

新生徒会長誕生！

新しい知念中学校を担う新生徒会長に２年１組の﨑本斎心さんが当選しました。本校では４年ぶりの男子生徒会長になります。１２月９日に行われた立ち会い演説会では、他学年との交流の場を設けたい。要望箱や意見箱を設置して皆が楽しくなる学校にしたいと述べた。また、推薦人の古堅光太郎さんからは、ユーモアがあり皆をよく笑わせてくれる人。ケジメや正義感、責任感があり頼りにされている。生徒の意見を尊重して、学校の顔となり頑張ると思うと応援した。﨑本会長、皆の期待に応えるよう努めてください。また、ともに立候補した皆さんも、副会長や役員として一緒に頑張ってください。

～文化芸術による子ども育成授業～ ダンス創作発表に1年生が取り組む

１２月７～９日の３日間、１年生はコンテンポラリーダンスに挑戦しました。ＮＰＯ法人ＪＣＤＮより５人の講師がお見えになりご指導いただきました。初めての体験に興味津々で取り組んだ１年生。６時間目の発表は素晴らしい作品に完成していました。自分たちで創り上げたダンスに表現された思いが伝わりとても感動しました。学級が１つになりよく頑張りました。生徒の感想を紹介します。

＜Ｉ－１　砂川　希美香＞

最初に創作ダンスを見たときは、変なポーズだったり、普通に座ってダンスなのかわからなかったけど、ちょっと腰をひねったり、上・横・下を向いたりするだけで、動きの力強さだったり、スピード・感情を工夫して表すことができるんだなと３日間を通して知ることができました。また、みんなで踊ったときに、一人一人の動きの違いやおもしろさがあって、一人で考えるだけでなく人のもまねしてみたりして、１個のダンスがいつの間にかできていたので、ダンスって１つの動きを繋ぎ合わせて創ることができるんだと思いました。

＜Ｉ－１　島袋　椛暖＞

創作ダンスの学習を振り返って、自分自身、運動が苦手でしっかり踊れるか不安に思っていた部分が大きかったが、最終日にみんなで創ったダンスを全員で息を合わせて踊りきって「楽しかった」と思うことができた。特に、自分は体全部を大きく自由に動かせる「魚の動き」が楽しいと感じた。また、何かわからない動きがある時やこれでいいのかわからない時に、先生たちがアドバイスをくれたり「いいね！」と肯定してくれた時がとても嬉しかった。

＜Ｉ－１　関村　蓮斗＞

今回のダンスの授業を振り返って、ダンスは誰が何と言おうと創ったダンスはちゃんとしたダンスであるとわかった。他にもダンスはグループでやれば全然恥ずかしくないと思った。でも、自分がグループで考えた踊りをちゃんと踊れてたかは、結構不安があったし、周りが不快になってないのかとかがすごく気になりました。ですが、後から動画を見て少し自信がついたし、最後の決めポーズもできていて意外とうまいんじゃないかと思えるようになりました。

家庭学習帳（愛汗大志）が終わったら、校長室へ提出を忘れずに！

あなたは今、何冊目ですか？目標年間５冊！